

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月12日

上場会社名 株式会社 フォーバル  
 コード番号 8275 URL <http://www.forval.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 大久保 秀夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 加藤 康二  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

上場取引所 JQ

TEL 03-3498-1541

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	8,884	—	△32	—	△40	—	4	—
20年3月期第1四半期	6,544	5.5	△325	—	△395	—	123	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	0.35	—
20年3月期第1四半期	9.01	9.00

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	17,322	7,060	7,060	37.6	37.6	473.48
20年3月期	17,890	7,183	7,183	37.1	37.1	482.34

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 6,517百万円 20年3月期 6,639百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	12.50	12.50
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	12.50	12.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	16,800	—	150	—	100	—	100	—	7.27
通期	36,000	4.9	450	—	400	—	300	—	21.80

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 一社(社名 ) 除外 一社(社名 )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無  
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)  
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 13,866,311株 20年3月期 13,866,311株  
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 101,944株 20年3月期 101,881株  
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 13,764,374株 20年3月期第1四半期 13,764,430株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な予想を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題を発端とした世界的な金融・資本市場の混乱や、原油をはじめとする資源価格の高騰により、減速感が強まっております。

また、当社グループの事業領域である情報通信分野においては、ブロードバンド化・IP化等の急速な進展に伴い、固定と移動の融合、通信と放送の連携、インターネットを活用した新たなサービスの拡大等、ダイナミックに市場が変化しております。

このような経営環境下、当社グループは中小・中堅企業に対するNo.1の「総合ブロードバンドソリューションカンパニー集団」となるべく、当期も引き続き「安心と安全の提供」をテーマにお客様との接点を拡大し、事業の拡大に取り組んでおります。

なお、当第1四半期連結会計期間における連結業績は、2007年7月に子会社化した株式会社リンクアップの携帯販売事業の寄与や、商業印刷物の企画・編集・製作を営むタクトシステム株式会社を2008年4月に子会社化したことにより、連結売上高は8,884百万円（前年同期比35.8%増）となりました。

利益の面では、売上総利益が前年同期比で230百万円増加したのに加え、販売費及び一般管理費が62百万円減少したことにより、営業損失は32百万円（前年同期は325百万円の損失）、経常損失は40百万円（前年同期は395百万円の損失）と大幅に改善し、投資有価証券の売却による特別利益を計上したことにより四半期純利益は4百万円（前年同期比96.1%減）となりました。なお、当企業集団の中核会社である株式会社フォーバルの当四半期業績は以下のようになっており、営業利益、経常利益は大幅に改善しております。

営業利益19百万円（前年同期は231百万円の損失）

経常利益99百万円（前年同期は96百万円の損失）

四半期純利益173百万円（前年同期は410百万円の利益）

事業の種類別セグメントの状況は以下のとおりです。

#### [機器関連事業]

複写機等が業界全体では数量の減少ならびに競争激化による著しい価格下落の厳しい状況の中で、数量ベースで前年同期を上回るとともにカラー化率がより一層高まったことで前年同期並みの売上を確保し、ファイルサーバーの販売が好調に推移したことで情報機器関連が前年同期に比べ48.8%増加しましたが、電話機が経営環境の悪化に伴う顧客の低価格志向が一層高まったことから前年同期に比べ10.8%減少したことで、売上高は2,473百万円（前年同期比1.3%減）となりました。

#### [ネットワーク関連事業]

株式会社フォーバルクリエイティブの売却に伴いセキュリティ関連が42.7%、組織変更に伴うWeb専任人員の減少によりWeb関連が28.1%前年同期に比べ減少しましたが、株式会社リンクアップの寄与により通信ネットワークが99.7%、タクトシステム株式会社の寄与によりその他が31.8%前年同期に比べ増加したことで、売上高は6,410百万円（前年同期比58.7%増）となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ567百万円減少し17,322百万円となりました。

主な内容は、受取手形及び売掛金が減少したことを主因に流動資産が前連結会計年度末に比べ1,080百万円減少し、のれんの増加を主因に固定資産が前連結会計年度末に比べ513百万円増加しました。

流動負債は支払手形及び買掛金が減少したことを主因に前連結会計年度末に比べ671百万円減少する一方で、固定負債は前連結会計年度末に比べ225百万円増加しております。

また、純資産は主に配当に伴う利益剰余金の減少により前連結会計年度末に比べ122百万円減少し7,060百万円となりました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は2,476百万円となり、前連結会計年度末に比べ77百万円の減少となっております。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は565百万円でした。これは主に、売上債権の減少額845百万円、棚卸資産の減少額121百万円、税金等調整前四半期純利益44百万円及び減価償却費125百万円等の増加要因に対して、仕入債務の減少額868百万円等の減少要因によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は249百万円でした。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出376百万円、有形固定資産の取得80百万円及び無形固定資産の取得87百万円等の支出に対して、定期預金の払戻による収入129百万円、投資有価証券の売却による収入105百万円及び短期貸付金の回収47百万円等の収入があったためです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は393百万円でした。これは主に、長期借入金の返済による支出305百万円、配当金の支払い111百万円等の支出があったためです。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間及び通期共に前回決算発表時(平成20年5月23日)の業績予想を据え置いております。

顧客基盤の拡大のために新規顧客の開拓強化、及びストック型の収益構造への転換を図るべく4月より提供を開始した、当社グループの強みである保守・サポートサービスに経営者の抱える問題を解決するサービスを付加した総合ITコンサルティングサービス「アイコン」の浸透を図り、業績向上に取り組んでまいります。

また、当期の1株当たり配当金につきましては、期末配当金12.50円を予定しております。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### ① たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末におけるたな卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し前連結会計年度末に係る実地棚卸高を基礎として、合理的な方法により算定しております。

##### ② 繰延税金資産の回収可能性の判断

前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度末において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法を採用しております。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

##### ① 四半期連結財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

##### ② 重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として移動平均法による低価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

1 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る要約 連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,519,544	2,573,110
受取手形及び売掛金	4,087,082	4,666,768
商品	289,787	398,454
半製品	60	217
原材料	14,266	13,159
仕掛品	44,027	8,148
その他	1,661,268	2,050,549
貸倒引当金	△52,681	△66,343
流動資産合計	8,563,356	9,644,064
固定資産		
有形固定資産	1,226,299	1,179,436
無形固定資産		
のれん	1,389,464	1,044,590
その他	1,319,276	1,374,571
無形固定資産合計	2,708,741	2,419,162
投資その他の資産		
投資有価証券	3,536,978	3,426,601
その他	1,605,272	1,563,865
貸倒引当金	△263,319	△252,668
投資損失引当金	△54,466	△89,966
投資その他の資産合計	4,824,466	4,647,832
固定資産合計	8,759,506	8,246,431
繰延資産	61	66
資産合計	17,322,924	17,890,562
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,286,070	4,088,974
短期借入金	2,926,458	2,838,475
未払法人税等	22,252	88,527
役員賞与引当金	3,000	14,000
その他	2,254,231	2,133,350
流動負債合計	8,492,013	9,163,327
固定負債		
長期借入金	270,522	184,886
退職給付引当金	1,199,073	1,201,388
その他	300,370	157,931
固定負債合計	1,769,965	1,544,206
負債合計	10,261,978	10,707,533

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る要約 連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,150,294	4,150,294
資本剰余金	4,014,294	4,014,294
利益剰余金	△2,736,194	△2,569,020
自己株式	△62,370	△62,352
株主資本合計	5,366,024	5,533,217
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,090,129	1,043,227
為替換算調整勘定	60,967	62,681
評価・換算差額等合計	1,151,097	1,105,908
少数株主持分	543,824	543,903
純資産合計	7,060,946	7,183,028
負債純資産合計	17,322,924	17,890,562

(2) 【四半期連結損益計算書】  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	8,884,513
売上原価	6,649,749
売上総利益	2,234,763
販売費及び一般管理費	2,267,047
営業損失(△)	△32,283
営業外収益	
受取利息	2,604
受取配当金	6,795
その他	9,179
営業外収益合計	18,580
営業外費用	
支払利息	16,493
持分法による投資損失	3,235
その他	6,630
営業外費用合計	26,359
経常損失(△)	△40,062
特別利益	
投資有価証券売却益	81,175
その他	10,614
特別利益合計	91,789
特別損失	
固定資産除売却損	2,286
投資有価証券売却損	2,258
投資有価証券評価損	5
その他	2,965
特別損失合計	7,515
税金等調整前四半期純利益	44,212
法人税、住民税及び事業税	9,640
法人税等調整額	5,494
法人税等合計	15,134
少数株主利益	24,196
四半期純利益	4,881

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間  
(自 平成20年4月1日  
至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	44,212
減価償却費	125,947
のれん償却額	43,355
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,332
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△2,315
受取利息及び受取配当金	△9,400
支払利息	16,493
持分法による投資損益 (△は益)	3,235
投資有価証券売却損益 (△は益)	△78,917
固定資産除売却損益 (△は益)	2,286
売上債権の増減額 (△は増加)	845,272
たな卸資産の増減額 (△は増加)	121,727
仕入債務の増減額 (△は減少)	△868,458
その他	404,436
小計	646,541
利息及び配当金の受取額	14,965
利息の支払額	△15,567
法人税等の支払額	△80,625
営業活動によるキャッシュ・フロー	565,313
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△12,629
定期預金の払戻による収入	129,075
有形固定資産の取得による支出	△80,305
有形固定資産の売却による収入	14,828
無形固定資産の取得による支出	△87,085
投資有価証券の取得による支出	△68,587
投資有価証券の売却による収入	105,750
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△376,792
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△17,817
短期貸付金の増減額 (△は増加)	47,226
その他	96,344
投資活動によるキャッシュ・フロー	△249,993
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	35,858
長期借入金の返済による支出	△305,910
配当金の支払額	△111,407
少数株主への配当金の支払額	△11,802
その他	△18
財務活動によるキャッシュ・フロー	△393,280
現金及び現金同等物に係る換算差額	246
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△77,714
現金及び現金同等物の期首残高	2,554,508
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,476,794

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	機器関連事業 (千円)	ネットワーク 関連事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	2,473,805	6,410,708	8,884,513	—	8,884,513
(2)セグメント間の内部売上高又は 振替高	57,133	40,360	97,494	△97,494	—
計	2,530,939	6,451,068	8,982,007	△97,494	8,884,513
営業利益又は営業損失 (△)	43,442	△75,725	△32,283	—	△32,283

(注) 1. 事業区分の方法及び各区分に属する主要な商品及び役務の名称  
事業は市場及び販売方法の類似性によりセグメンテーションしております。

事業区分	主要な商品及び役務
機器関連事業	電話機・ファクシミリ・パーソナルコンピュータ・複写機等の直接販売及び代理店販売
ネットワーク関連事業	国際・国内通信のサービス 情報ネットワーク接続に関するハード・ソフトの開発及び販売 Web関連 セキュリティ関連 その他

2. 会計方針の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

「四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続・表示方法等の変更」②に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を適用しております。これによるセグメント情報に与える影響は軽微であります。

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	6,544,273
II 売上原価	4,540,001
売上総利益	2,004,271
III 販売費及び一般管理費	2,329,865
営業損失(△)	△325,594
IV 営業外収益	25,364
受取利息	2,344
受取配当金	3,575
その他	19,444
V 営業外費用	95,241
支払利息	11,525
持分法による投資損失	74,891
その他	8,824
経常損失(△)	△395,471
VI 特別利益	529,726
投資有価証券売却益	515,537
その他	14,188
VII 特別損失	6,539
固定資産除売却損	5,345
その他	1,194
税金等調整前四半期純利益	127,714
法人税、住民税及び事業税	12,858
法人税等調整額	2,720
少数株主損失(△)	△11,835
四半期純利益	123,970

## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	127,714
減価償却費	118,169
貸倒引当金の増加額	6,353
退職給付引当金の増加額	29,426
のれん償却額	11,716
受取利息及び受取配当金	△5,919
支払利息	11,525
持分法による投資損失	74,891
投資有価証券売却益	△515,537
固定資産除売却損	5,345
売上債権の減少額	514,689
たな卸資産の減少額	34,670
仕入債務の減少額	△415,544
その他	210,280
小計	207,781
利息及び配当金の受取額	4,418
利息の支払額	△853
法人税等の支払額	△19,259
営業活動によるキャッシュ・フロー	192,086
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△86,180
有形固定資産の売却による収入	619
無形固定資産の取得による支出	△25,198
投資有価証券の取得による支出	△192,949
投資有価証券の売却による収入	594,684
連結範囲の変更に伴う子会社株式の取得による支出	△179,043
短期貸付金の純増加額	△576,383
その他	△4,904
投資活動によるキャッシュ・フロー	△469,356

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純減少額	△421,051
長期借入金の返済による支出	△176,687
少数株主への株式の発行による収入	30,000
配当金の支払額	△191,655
少数株主への配当金の支払額	△24,012
財務活動によるキャッシュ・フロー	△783,406
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	2,910
V 現金及び現金同等物の減少額	△1,057,765
VI 現金及び現金同等物の期首残高	3,608,963
VII 連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△2,141
VIII 現金及び現金同等物の期末残高	2,549,055